

これまで以上に図書館を利用したくなるような図書館を提案する。

まずはじめに、なぜ図書館の利用者があまり多くないかというと、借りるのがめんどくさいなど、返すのがめんどくさい、自分の好きな本がないや、今の時代は全部スマホで解決できるなど、そういったことが図書館の利用者を減らしている原因だと思われる。利用者にメリットよりデメリットの方が多いというのが今の現状だと思います。そこでデメリットよりもメリットの方が多くしていかななくては、ならないと思います。そこでどうしたらいいかというと、本を借りたら、ポイントが貯まったら食堂で使える、ポイントカードなど、そういった利用者にメリットのほうが大きくしていかないと、今現代の状況では図書館の利用者は増えないと思う。

もう一つ提案するとしたら、授業で使う資料などを、図書館にしかない本からしか、その資料を入手することができない、という状況を、作ると学生たちはその資料を入手するために、図書館を利用せざるを得ない状況になると思うので図書館利用者は増えると思われる。

ですがこれでは、まだ非現実てきというか、少し無理がある提案なので、もう少し現実みのある提案をしていこうと思う。

この公益文化大学に通っている生徒で今の、現状で、図書館を利用したことがあるという人は

半分も、いないと思われる。それはまだこの大学の図書館がどのような場所なのか、どのように使うのかなど、説明されたことはあるものの、大抵の人が忘れているだろう。そこで図書館を利用させるために、授業の一環で図書館の利用をすることで、もっと興味を持つ人や、また来たいなって、思う人が、そこまで多くはないと思うが、わずかな人数の人はもう一度行ってみようと思うだろう。その時点で、利用者は多少増えるかもしれないが、まだ満足いく数字は増えないと思うので、もう少しいい案を提案します。

思いついたのは、基礎演習などのレポート課題があるが、それを本校で借りた本のみに、読書感想文を書かせることで、今まで行ったことなかった人が、利用し、借りなきゃいけない状況ができるので、圧倒的に利用者は増えるだろう。一時期だけ増えるのでは、ダメだと思うが、その利用してる人を見て、図書館間で何しているのかなと気になり利用する出す人がいると思います。以上自分なりの図書館利用を増やす提案でした。